

2018年（平成30年）度 定時社員総会 議事録

日時：2018年3月29日（木）10：45～11：45

会場：日本医科大学武蔵境校舎・日本獣医生命科学大学 大講義室（A会場）

開会の辞

仲嶋常務理事より、事前に寄せられた書面評決状の総数249通（第1～10号議案について賛成242、反対0）、委任状なしでの総会出席者4名を加えて総数246名で、代議員総数330名の過半数（166名）を上回り、定款30条の定足数を満たし、社員総会が正式に成立することが報告され、開会の辞が述べられた。

8th APICA紹介

本年10月に開催予定の第8回アジアパシフィック国際解剖学会議（8th APICA）について、Im Joo RHYU 先生より紹介があった。

議長選出

仲嶋常務理事より、定款33条に基づき理事会において第123回全国学術集会会頭の小澤一史先生（日本医科大学）を議長に選出したことが報告された。

I. 議事録署名人の選任

仲嶋常務理事より、定款34条に基づき議事録署名人として監事の松村譲児先生（杏林大学）と渡辺雅彦先生（北海道大学）が推薦され、承認された。

II. 理事長報告

岡部理事長より解剖学会の状況について報告があった。主な点は以下の通り。1) 形態科学の推進：学会間の連携を進めており、生理学会とは3年後の合同大会を予定している。顕微鏡学会とは学術誌 Microscopy で連携をすすめている。国際的な連携としてはAPICAを契機に韓国との若手交流が進められればと考えている。2) 若手育成：基礎研究者養成のため、学術集会での学生セッションの活性化を図りたい。3) マクロ解剖関連：技術職員の待遇や雇用状況の改善に向けた根拠資料とすべくアンケート調査を進めている。サージカルトレーニングの予算化が進み、解剖学教室の負担が増えることが想定されるため、学会として対処していきたい。

III. 報告事項

以下1～7について、仲嶋常務理事より資料に基づき報告された。

1. 会員状況

平成29年12月31日現在の会員状況は、正会員2,014名、名誉会員74名、永年会員147名、賛助会員26名、団体会員55名、海外会員17名であることが報告された。

2. 物故会員

17名の物故会員が報告され、出席者全員により黙祷が捧げられた。

3. 教授就任による新代議員紹介

10名の教授就任による新代議員が紹介された。

4. 公益目的支出計画実施完了について

平成28年12月31日をもって公益目的支出計画の実施が完了したことの確認書が内閣総理大臣から通知されたことが報告された。

5. 次期役員選挙実施方法について

次期役員選挙より電子投票を導入することが報告された。

6. Anatomical Science International 契約更新について

シュプリンガー・ジャパンとのASI発刊契約が2017年末で期間満了を迎えることから、契約更新をおこなったことが報告された。

7. その他

特になし。

IV. 審議事項

1. 新名誉会員の件

仲嶋常務理事より、資料に基づき理事会より推薦された1名の新名誉会員について説明され、承認された。

2. 新永年会員の件

仲嶋常務理事より、資料に基づき理事会より推薦された9名の新永年会員について説明され、承認された。

3. 申請による代議員の件

仲嶋常務理事より、資料に基づき理事会より推薦された10名の新代議員について説明され、承認された。

4. 平成29年度事業および業務監査報告の件

以下①～⑦の事業について、仲嶋常務理事より資料に基づいて説明された。またこれらの事業についての業務監査報告は、次の会計監査報告と合わせて渡辺監事より説明され、すべて承認された。

① 学術集会開催状況

平成29年度の全国学術集会と支部学術集会の開催状況について

② 会議開催状況

平成29年度の常務理事会、理事会、定時社員総会の会議開催状況について

③ 学会誌の刊行状況

ASIおよび解剖学雑誌の刊行状況について

④ 委員会報告

以下の委員会の活動報告書について

- 1) 認定解剖組織技術者資格審査委員会
- 2) 解剖体委員会
- 3) 解剖学用語委員会
- 4) 海外交流委員会
- 5) 教育・若手育成委員会
- 6) アウトリーチ委員会
- 7) 学術委員会
- 8) 医療専門職教育委員会
- 9) 倫理・利益相反委員会
- 10) 男女共同参画推進委員会

⑤ 研究の奨励および業績の奨励

平成29年度日本解剖学会奨励賞受賞者ならびに平成29年度日本解剖学会認定技術者功労賞受賞者について

⑥ 内外学術団体との協力ならびに連絡

内外学術団体との協力ならびに連絡について

⑦ 技術者認定

1級技術者合格者ならびに2級技術者合格者について

5. 平成29年度決算および会計監査報告の件

八木沼常務理事より資料に基づき平成29年度決算について説明された。

引き続き渡辺監事より、渡辺監事と松村監事による事業および会計状況に関する監査報告書と小出公認会計士による独立監査人の監査報告書の内容が説明され、すべて承認された。

6. 平成30年度予算および事業計画の件

仲嶋常務理事より資料に基づき平成30年度の事業計画内容について、八木沼常務理事より資料に基づき平成30年度予算についてそれぞれ説明され、いずれも承認された。

7. 平成31年度予算執行の件

平成31年度予算執行に関して、定時社員総会開催までの1～3月分の予算執行については理事会に一任することが承認された。

8. 第126回（平成33年度）総会・全国学術集会開催担当校の件

第126回（平成33年度）総会・全国学術集会は第98回日本生理学会大会との合同大会として開催すること、担当校ならびに会頭については生理学会との調整を経て、平成31年度定時社員総会に諮ることが提案され、承認された。

9. 利益相反に関する規程の一部改正の件

資料に基づき、利益相反に関する規程の一部改正について説明され、承認された。

10. 認定解剖組織技術者認定規程の一部改正の件

資料に基づき、認定解剖組織技術者認定規程の一部改正について説明され、承認された。

11. その他

特になし。

V. 第124回（平成31年度）日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

第124回（平成31年度）日本解剖学会総会・全国学術集会の会頭である影山幾男先生（日本歯科大学新潟生命歯学部）より準備状況の報告と挨拶があった。会期：2019（平成31）年3月27日～29日、会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター、大会テーマ：解剖学の原点回帰

閉会の辞

議長より閉会の辞が述べられた。

上記の2018年度（平成30年度）定時社員総会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2018年（平成30年） 月 日

一般社団法人日本解剖学会

議長

署名人

署名人